



自由之理

第一冊

□ 4
3551
1



有不應將帥不專政令不甲兵糧餉適

耳爾等但秣未馬厲兵以穀飼馬日秣厲也左傳

矣以待張玉請先往駐白溝以逸待勞燕王從之燕

兵渡五馬河駐營蘇家橋燕王見兵刃有火光如毬

擊金鐵錚錚一作聲弓絃百鳴喜曰此勝兆也帝慮

景隆輕敵乃遣魏國公徐輝祖帥京軍三萬為殿去

聲星馳會之己未景隆及郭英吳傑等合軍六十萬

號百萬次於白溝河列陣以待景隆前鋒都督平安

燕軍勝北

下八頁丁十平命建出...

門04
號3551
卷 1

一千八百七十年倫敦出版
英國 彌爾ミル著

ON
LIBERTY.

自由之理

明治壬申二月發兌
駿河靜岡
中村敬太郎譯
木平謙一郎版

佐々木邦廣鐫



A LITTLE PHILOSOPHY
BRINGETH MENS
MINDS ABOUT TO
HEARTY
RELIGION.
TO ATHEISM, BUT DEPTH
IN PHILOSOPHY
LORD BACON.
漢川理學
乃心
之謂
學道
手不
道
依

[Faint handwritten text in cursive script, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

Liberty in its highest sense must have limitations; though men are less apt to respect its bounds than to accept its freedom. In some, there is a certain restless spirit which brooks no restraint, either from civil code or from individual conscience; & which feigns itself free in proportion as it is independent of rightful rule. But such a conception of freedom, is as far as possible from the truth: it defeats its own aims by substituting servility to self, to submission to lawful requirements. No form of bondage is more pitiable, than that of a soul taking the liberty to enslave itself; & no truer freedom is ever to be enjoyed than that of thorough submission to righteous law. And just in proportion as the "perfect law of liberty" rules in our members, just in that proportion do we rise to the standard of true freedom.

There is no word which the world has more highly prized, yet more frequently mistaken, than that of "liberty."

The men whose memories are held in most enduring esteem, are those who have emancipated mankind from the greatest wils. It is the great liberators, rather than the great conquerors, who are most worthy of honor & emulation; & it is the lives which have been blessings in their day, which have proved of most worth to history & humanity.

The mission of the world's Messiah was one of deliverance. As foretold by the ancient prophet it was "to set at liberty." It was to unchain the captive, not from a temporal, but from a spiritual despotism. It was to open prison doors, & to let light into dark places. It was to rescue us from the thralldom of sin & Satan, & to usher us into the "glorious liberty of the children of God!"

E. W. C.

Shidz u, oo ka.
Jan. 27th 1872.

明治辛未初冬新刻

駿河靜岡

中村敬太郎譯
木平謙一郎版

ON
LIBERTY

BY
JOHN STUART MILL.

TRANSLATED

BY
K. NAKAMURA.

SURUGA,
1871.

一千八百七十年倫敦出版

英國彌爾著

Introduction.

The law of nature & the law of spiritual life & growth, is harmony in diversity. And the fullest & richest developement of human experience, can only be attained by granting free scope to the varied impulses of individual character & individual effort.

The progress & enlightenment of society at large, is but the sum of that of the individual; & so far as the single life fulfils the functions most plainly its own, just so far will the civil & collective life of the people be advanced.

The time was when diversity of thought & belief was counted heresy; but the world has now reached a point in which it may discern, that those things which it once attempted to stifle & suppress, have eventually become the very main-springs of its advance.

序

古今之志しめ其加支所形矣安志者以之其
志の如く是れお乃の如くは如く申急子、安志は
亦乃書お本より生ふと云ふ、其の如くおん
人元、何れも是れを、お乃の如くは、何れも
其れおん、其れおん、其れおん、其れおん、其れおん、
其れおん、其れおん、其れおん、其れおん、其れおん、

以津る是れ一、おん

叙



青黄赤白黑。其色各異相合。
而五采備矣。宮商角徵羽。其聲
不同。和而五音成矣。若使之全
穀一色。則不復。采音也。何獨
至。又而異焉。其情思職業。萬異

如面相合而政成國治矣。若使之
 一思同業則不復成事也。而世人
 或欲以政權刑威矯制人固有一
 性以一其情思全其職業其度
 自然之公道亦多矣。歐洲諸國
 所以進日新聞化支那朝鮮之所
 自

不免固陋暗愚職是之由矣。是有
 志士之所慨嘆而彌爾子敬字
 兄之所自有此著身譯也。今多
 邦日夜維新趨文明之域將五采
 稍備五音漸成若東契讀此等
 書知所以觀於歐國而遊言於支

朝則有羽繳鏗鏘之音。絢綺燦爛之色。亦可居庶幾也矣。詩云。它山之石可以攻玉。蓋亦謂以果磨異也已。

明治四年癸卯九月南摩經紀識



自序

予が如キ禱昧ナルモノ。固ヨリ是非ヲ定ムベキ知見ナシ。コノ書ニ論ズルヲ。是ナリヤ非ナリヤ。予が知トコロニ非ズ。或人曰ク。然ラバ何故ニコレヲ譯スルヤ。對テ曰ク。世ノ中ニ。アリトアラユル議論ハ。是ニモセヨ。非ニモセヨ。知テ居ル方が。知ヌヨリハ善カルベシ。サレバ。英國并ニ歐羅巴諸國ニテ。他邦ノ書ヲ廣ク翻譯スルヲ務メタリ。コノ書ニ論ズル自由ノ理。又曰。理トイフヲハ。皇國ニテハ。固ヨリ關係ナキナレバ。歐羅巴諸國ニテハ。至要至緊ナルモノト為テ。常ニ言フナルが故ニ。

コレヲ譯シテオカバ。外國ノ政體ヲ穿鑿スル人ノタ
メニ萬一ノ裨補トモナルベシト思ヒ。拙劣ヲカヘリ
ミズ。コレヲ譯シタリ。世ノ下觀ヲ耻ザル人。モシコノ
書ニ説トコロノ議論ヲ非ナルモノト思ヒタマハバ。
願ハクハ論駁スル書ヲ著ハシ。ソノ迷謬ヲ指陳シ玉
ヘ。コノ事ノ望マシキガ為ニ。今コレヲ梓ニ上セ。世ニ
公ニスルモノナリ。

明治辛未七月下浣中村正直識

彌爾小傳

彌爾姓戎斯去亞的名ハ。當今英國有名ノ著作家ニシ
テ。モツトモ邦國經濟學ニ長ゼリ。少年ノ時。東印度公
司ノ書記官トナリシガ。後ニソノ文書考察司ニ陞レ
リ。一千八百四十八年嘉永二年。シテムヲフロヂックヲシヨナチウ
エドイダクチヴラ著ハシ。印行ス。コノ書ノ中ニ。實用ニ做
シ得ラル、コラ論ズルモノ。當今歐洲人生實用ノ利
益トナレリ。コレニ次デ著ハセル書。「エッセイスランサムアン
セツトルト空スチヨンスヲフホリチカルイコノミイ。」プリンシプルスヲフホリチカル
イコノミイ。二種アリ。ミナ邦國ノ財用ヲ論ズルモノナリ。
一千八百三十五年天保六年ニ。ロンドンエドウストミンスターレダ
ト

卷之五

施用ヲ論ズ

自由之理目錄終

自由之理卷之一

序論



自由之理トイヘル語ハ種々ニ用ユリベルテ

イヲフゼウイル主意ノ自由思想議論ノ自由トイヘルモ

ノハスイロツスイカル子セスシテイ不得ケタルモノナリ之理

コレ等ノ譯後人トイヘル道理ト反對スルモノニシテ此

書ニ論ズルモノニ非ズ此書ハシヴイルリベルテイ人民ノ自

由即チソーシアルリベルテイ人倫交際上ノ自由ノ理ヲ論

ズ即チ仲間連中即チ政府ニテ各箇人ノ上ニ施行フベキ

權勢ハ何如ナルモノトイフ本性ヲ講明シ并ニソノ權勢

ノ限界ヲ講明スルモノナリ○自由トイヘルヲ顯然タル



自由之理卷之一

議論ノ題目トナリシコトハ古ニアラザレドモ人世ノ事蹟ニ於テ政府ト人民トコレヲ得ントテノ争ハ古代ヨリ隠然トシテコレアリシナリ世道ノ開化ニ進ムニ至リテソノ事マス顯ハレ自由ノ情形自ラ新ニナリタレバコノ道理ノ原由ヲ講明セザルベカラズ

本文ニイヘル仲間連中ニテ一箇ノ人ノ上ニ施シ行フ權勢トイフコトハ下ヲ讀テ自ラ知ラルコトナレバ荒増コトニ説クベシ○國中惣體ヲ一箇ノ村ト見ル村中ニ家數百軒アルト見ルコト百軒ノ家ハミナ同等ノ百姓ニテ貴賤ノ差別ナシ然ルウヘハ銘々安穩ニ暮サルヤウ自ニ家業ヲ出精シソノ他心ノ欲スルニ從ヒ自由ニ何事

ニテモ爲シ利益ヲ得テ宜シキ道理ナリ固ヨリ他人ニ屬シコレガ指揮ヲ受ベキ理ナクマシテヤ他人ニ強ラレ吾本心ハ是トスルモノヲ行ヒ得ザル理ナキコトナリサレドモコノ百軒ノ家ハ互ニ持合テ一村トナリタルモノニシテタトヒ銘々檀那ノ權ノ自由アリ自由ニ已ガ便利ヲ謀リテ宜シキ譯トハイヒナガラ村中惣體ノ便利ヲモ謀ラザルベカラズ或ハ鄰村ヨリ盜賊等ノ襲ヒ入ルコトモアレバ相互ニカヲ合セテコレヲ防ガザルベカラズサルカラニ申合セテ百軒ヨリ每年少々ツ金錢ヲ出シ村中總入用トナシ年番ヲ立テ五六軒ニテ仲間ヲ組ミ村中ノ事ヲ取扱ヒソノ總入用ノ中ヲ以テ或

ハ橋ヲ架シ川ヲ浚ヒ道普請ヲ爲シ或ハ相應ノ武器ヲ
 備ヘ或ハ凶年ノ爲ニトテ米穀ヲ蓄ハフコレ租税ノ姿
 ナリ又村中ニ人ヲ殺スモノアリ仲間連中ニテ評議シ
 カル人ヲ赦シオカバ惣體ノ害トナルベシトテコレ
 ヲ刑罰ニ行フコレ刑法院ノ姿ナリ抑モ年番ニアタル
 仲間連中ハ村中守護ノ役目ヲ持ルコトナレバ固ヨリ村
 中ノ事ヲ裁判スル權アリサレドコハ權ガアマリニ強
 クナルトキハ一箇ニテ自由ニ事ヲ行フコトハ妨トナル
 コナレバ仲間連中即チ政府ニテ一箇ノ人ノ上ニ施コ
 シ行フ權勢ノ限界ヲ論定スルハ人民ノ福祉ヲ増シガ
 爲ニ一大關係ノ事トハナリタルナリ

往古君民
 争權

往古希臘羅馬英國ノ史冊ヲ觀レバ人民ハ自由ヲ得ント
 欲シ政府ハ權勢ヲ得ント欲シ常ニ相争ヒシモノナリコ
 ノ時ニ當リテハリベルテイ自由トモ又自
 主ノ理トモ云トイヘルモノヲ
 以テ君主ノ暴虐ヲ防グ保障トナセリコノ君主ハ或ハ世
 襲ニ由リ或ハ征服ニ由リテ政府ノ權勢ヲ受有タルモノ
 ニシテソノ施コシ行フトコロ往々人民ノ好ムトコロニ
 從ハザルノミナラス人民ヲ抑ヘツノ自由ヲ防グ敵國
 外患ヲ防グニ異ナラス譬ヘバ人民ハ無數ノ群鳥ノ如ク
 頭人ハ衆鷹ニ似テ群鳥ソガ搏撃吞噬ニ苦シム形勢ナリ
 サレバ衆鷹ヨリ強キ鷹王ニテモアリナバ強ヲ抑ヘ弱ヲ
 扶ケ群鳥ノ苦ヲ救フベシト思ヒシニ鷹王出タレバ暴虐

ノ威ヲ振フ。マス、甚シク。群鳥ハ、ソガ毒嘴惡爪ヲ防グ
 ニ暇アラヌ模様ナリ。サレバ、コノ時、國ヲ愛シ、民ヲ助クル
 義士、オモヘラク。カク、人民ノ安カラザルハ、君主ノ權ニ限
 界ナキユエナリ。今ヨリハ、君主民ヲ治ムルノ權ニ、限界ヲ
 立定ムベシト。コノ限界ノ義ヲ名ケテ、リルテイ自由トハ
 云シナリ。コノ人民自由ノ理ヲ保存スルニ、二様ノ法アリ。
 第一法ハ、君主已等ヲ治ル權ヲ限リ、君主ヨリ承允シタル
 約定ヲ得ルトナリ。サテ君主モシコレヲ背キ犯ストキハ、
 約信ニ違ヒ、職分ヲ失フコトナリ。人民或ハコレニ抵抗シ、
 或ハコレニ背叛スルトモ、不法トハセザルナリ。第二法ハ、
 人民ノ心ニ、已等ノ利益トナルベシト思フコトハ、コレヲ言

人民保存
 自由之理
 有二法

表ハシ、立テ律令ト爲^スヲ得ル。カクシテ、統治ノ權ヲ壓束ス
 ルナリ。コノ第一法ハ、歐羅巴諸國ニテ久シク已ニ行ハル。
 第二法ハ、往時未ダ十分ニ行レザル國モアリシユエ、自由
 ヲ好ム人ハ、コレヲ十分ニ行ハント思ヒ、コレヨリ外ノ志
 望ハアラザリシナリ。

然^ルニ世道ノ上進スルニ隨ヒ、人民ノ議論、往昔ト異ナルコ
 トハナレリ。昔ハ君主ヲ不羈獨立ノ權勢ヲ有^タテ、人民ノ
 利益ヲ妨^サグルモノト思ヒシガ、後世ノ人、思ヘラク。國ノ大
 小官員ハ、人民ノ委託スル役人ナレバ、モシ意ニ叶ハヌト
 キハ、コレヲ廢改スルコトヲ得ベシ。サレバ、人民ノ選ベル官
 員ニテ、組ミ立タル政府ナレバ、政府ノ權勢ハ、決シテ人民

ノ爲ニ不便ナルモノトハナラザルベシト。カクノ如キ説
 流行スルニ從ヒ。人民ノ意ニ合ヘル人ヲ擇ビ。暫時ノ人牧
 ト爲ンコトヲ希望スルコトハナレリ。カクセバ。君主統治ノ
 權ハ。人民ノ時節ニ擇ベルヨリシテ生ズルコトナレバ。人或
 ハ思ヘラク。昔シ君主自己ノ利益ヲ謀リ。人民ノ利益ヲ妨
 ダタレバ。ソノ權ヲ限制スルコト。必要ナルベケレバ。今ハタ
 ヲ擇ベルトコロノ君主ノ志願ヲシテ。人民ノ志願ト同一
 ナラシメ。君主ノ利益ヲシテ。人民ノ利益ト同一ナラシメ
 バ可ナリ。ソノ權ヲ限ラズ。凡暴虐ニ至ルベキヤウナシ。何
 トナレバ。人牧ハ。人民ヲ守護スルタメニ立ラル、モノナ
 レバ。人民己ノ願欲ニ背テ守護セラる、ヲ欲セス。ユエニ

人牧タルモノ。實ニ人民ヨリ委任セラレタル職分ヲ盡セ
 ハ可ナリ。モシ人民ノ意ニ合ハヌトキハ。人牧ヲ速ニ廢改
 スルコトヲ得ベシ。カクノ如キ情勢ニテハ。君主ニ權ナシ。ソ
 ノ所謂權ハ。人民各箇ノ權ヲ以テ君主ニ託スルモノニテ。
 即チ國中各人各地ニ散布スル權ヲ。便宜ノ爲ニ。一人一所
 ニ集メタルモノナリ。
 以上ノ考思議論。歐羅巴諸國ニ行ハレシガ。世運日ニ開ケ。
 民治ノ國多ク出來。ソノ情狀ヲ目撃シ。コノ説ノ眞確ナラ
 ザルヲ知リ。何ニトナレバ。政府ノ權ハ。即チ民人ノ權ナレ
 バ。限ルニ及バズトイフコト。タゞ昔物語ニ。民政トイフコ
 トヲキ。或ハ後來ヲ臆度スルノミナレバ。カ、ル議論ヲ道

無論君治
民治之國
政府之權
不可不限

理ノヤウニ思フベキナレド、今ハ民治ノ國、尤モ勢力アル
人民ト稱セラレ、地球上ノ大分ヲ占ルコトナリ、親シクツ
ノ模様ヲ觀ルニ、政府ノ權即チ選ビ任スル仲間連中ノ權
ニ限界ヲ立ザレバ、人民真成ノ自由ヲ得ル能ハザル、明
白ニ證知セラレタリ、
問、何故ニ、民治ノ國ニテモ、政府ノ權ヲ限ラザレバ、真正ノ
自由ハ得ラレザルヤ、答、民治ノ國ニテハ、人民各自ヲ治ル
ニテ、人ニ治ラル、ニ非ズトイヒ、又ソノ權勢ハ人民自ラ
ソノ上ニ置ル權勢ナリ、杯トイヒ來ルコトナレドモ、ソノ真
實ノ情形ハ、決シテ然ラズ、何ニトナレバ、民治ノ國ニテモ、
人々盡ク政事ヲ行ヒ、權勢ヲ握ルニ非ズ、治ムル人、必シモ

常ニ治ラル、人ニ同シカラズ、銘々自ラ治ムルニ非ズシ
テ、銘々國中惣體ニ治メラル、コナリシカ、ミナラズ、人
民ノ志願ニ從ヒ、政ヲ行フト云フナレド、ソノ所謂人民ノ
志願ハ、國中惣體ノ志願ニ非ズシテ、多數ノ一半ノ志願ナ
リ、即チ活潑ナル人民ノ部分ニテ、ソノ黨ハ多キモノ、志
願ナリサレバ、コノ多數ノ一半、必ズ少數ノ一半ヲ壓抑セ
ント欲スベシ、多數ノ一半ハ、議論ニ勝タル姿ニテ、志ヲ得
バタレド、少數ノ一半ハ、勢ヲ失フベシ、所謂政府ハ、コノ多
數ノ一半ヨリ成リタルモノナレバ、政府ノ權ヲ限ラザレ
バ、少數ノ一半、即チ勢弱キ人民、ソノ自由ヲ保チガタカルベ
シ、サレバ、多數ノ黨ハ、暴威ヲ抑制シ、少數ノ黨ハ、自由ヲ保

存スベキヲ要スルナリ。
 人民ヨリ議政員ヲ撰ブニハ、各ツノ説ノ已ニ合ヒタルモ
 ノヲ選ブヨニテ、ソノ最モ多ク人民ニ選バル、人議政ノ
 官員トナリ。政府ハコノ議政ノ官員ヨリ成立^リナレバ、人
 民同意スルモノ、多キ仲間ニテ政事ヲ為ル譯ニナルナ
 リ。コノ國中ニテ、最モ群ノ多キ仲間モトヨリ無理非道ナ
 ルヲ為ル志ハアラザルベク、國ノ為ニ利ヲ興シ害ヲ除
 シト欲スルヨリ外ノ念慮ハアラザルベレ。然レ、コノ多數
 ノ仲間ニテ、命令ヲ出^ス、必シモ皆是ナラス。時トシテハ理
 ニ當ラザルコアリ。又時トシテ、政府ニテ關係スマジキ事
 ニ立入ルコアリ。暴威ヲ振ノ心ニテハ非ザルベケレ。自

ラ多ヲ以テ寡ヲ奪ヒ強ヲ以テ弱ヲ壓スル姿アルコナレ
 バ、世俗コレヲ多數ノ仲間ノ暴威ト喚^ヒ做^シテ甚ダコレヲ恐
 レ。官員ノ權勢ヲ限リ、コノ暴威ヲ防グベシト思ヘリ。然レ
 考思深キ政學家ハ、以為ク、多數ノ仲間ノ暴威ハ、人君ノ暴
 威ヨリ其害更ニ甚シコレヲ防グニ、官人ノ權勢ヲ限ルノ
 ミニテハ事足ベカラズ。一般ニ流行シ一般ニ善トスル意
 見議論ニ向^ツテスハ、權勢ヲ抑ヘコレヲ限ルベキナリ。何ニ
 トナレバ、政府ノ意見議論ハ、一般ニ流行シ一般ニ善トス
 ル意見議論ナレバ、政府ニテコレヲ以テ規則ト為テ、ソノ
 已ニ異ナルモノヲ強テ、已ニ同シカラシメント思ヒ、マタ
 新見新意ノ已ニ異ナルモノ、生^シ出ルヲ禁制セント思

多
 人
 天
 一
 一
 一

政府欲以一己之意見強天下之人心是之謂暴虐

フベシ。シカノミナラス。國中惣體ノ好尚性格ヲ、已ノ模範
 ニ入ント思ヒ、人心ヲ強ヒ、箝制ノ政ヲ行フベシ。コレゾ、怕
 ルベキ暴威ナレバツ、ハ權勢ハ強ナラスヤウニコレガ限
 界ヲ定ムベキナリ。蓋シ惣體ノ意見議論、即チ政府ノ意見
 議論ハ、何程マデニ人民ノ上ニ行フベク、多數ノ仲間、即チ
 政府ノ權ハ、何程マデニ人民一箇自由ノ權ト立交リ相關
 係シテ宜シカルベキヤトツ、ノ限界ヲ查究シ、霸政ノ侵佔
 ヲ防グ下ハ、世運ノ福祚ヲ増シ、人心ノ祥善ヲ崇スル為ニ、
 最要ニシテ少ベカラザルモノナリ。
 問、然ラバ人民自主ノ權ト、政府管轄ノ權ト、コノ二者ノ間
 ニ何如ナル處置ヲ為テ、和調適當ナルヲ得ベキヤ。答、テ曰

ク、人固ヨリ自由ニ吾心ノ是トスルモノヲ行フ、然ルベ
 キ道理ナレド、コノ世界ハ、我一己ノ世界ニ非ス。相互ニ持
 合ヒ、相互ニ安穩ヲ保ツモノナルガユエ、相互ニ勸辨シテ
 一步ヲ譲リ他人ニ限制セラル、ニ由テ福祥ヲ受得ラル
 ハ、コナリ。サテ政府ニテ人民ヲ管治スルニハ、人民ノ行狀
 ノ規則ヲ立ザルベカラスト思リ、シカセンタメニ、第一ニ
 ハ、法律ヲ立定ムベク、第二ニハ法律ノ及バザル諸事ニハ、
 意見論說即チ教化ナリヲ以テ人民ヲ治ベシト思ヘリ。サルカラ
 ニ、何ナルモノヲ以テ、人民ノ行狀規則トナスベキヤトイ
 ヘルコ、人事上ニ於テ第一ノ問題トハナリタルナリ。
 昔ヨリ天下諸國ノ政府ニテ、人民ヲシテ、如此如此ノ行狀

自古徃々
人以風俗
慣習錯認
為道理

トナラシメント欲シソレガ為ニ法度ヲ立規則ヲ定ムル
コナレド一國一國各異ニシテ一世一世互ニ同ジカリガ
タシシカノミナラス甲ノ國ニテ定ムル規則ハ乙ノ國ノ
人ノ目ニハ驚クヘク見エ彼ノ世ニテ定ムル法度ハ此ノ
世ニテハ怪シムベク覺ユ然ドモ何ノ世何ノ國ニテモ人
民一般ニ風俗トナリ為慣タルコト自ラ善トシ自ラ是ト
スルコナレバ所謂行狀ノ規則トスルモノハ風俗ニシテ
道理ニハアラスサレバソノ政府ニテモ耳目ノ聞見スル
トコロノ外ハ考ヘ出ザルモノナレバ自ラハ道理ト思フ
ベケレド畢竟ハ各々ソノ風俗ニ泥ミテ人民行狀ノ規則
ヲ立ルコナリ且何ノ世何ノ國ニテモ有名ノ理學者トイ

ハル、人、世ニ出テ議論ヲ唱フレバ人民スグニソノ説ヲ
信仰シソノ上ニマタ道理ヲ以テ勘考スルコトハセズ盡ク
ソノ教ニ傾クコト昔ヨリノ習ナリ

昔ヨリ人多ク説ヲ立テ我が好ンデ行フトコロヲ以テ尺
度トナシ他人ヲシテマタカクノ如ク行ハシムベシコレ
ヲ以テ行狀ノ規則トナスベシトイヘリカク説ヲ立ル人
トテモ自ラ我が好ニ從テ人倫ノ規法ヲ定ムトハ思フベ
カラス考思ノ定斷ニ由テ人民ノ規則ヲ立ルト思フベシ
コレサモアルベキ譯ナリソノ人一人コレヲ善トシコレ
ヲ好ノミユテ他人一同ニ不服ナレバ道理トハ思フマジ
キナレドモコレヲ同時ノ人ニ相談スルニ誰モ尤ナリト

イフトキハ大抵ノ人サテハ吾ガ説十分ニ道理アリト自
ラ信ズル心出來ヌベシシカノミナラズ倫常禮法ノ事ニ
於テユノ人タゞソノ自ラ道理アリト思フ一説ノミニテ
更ニソノ他知ルコロアラス教書ヲ讀ニモ巳ノ説ニ從テ
解説スルコトハナレルナリ

コレニ由テ推論スレバ人ノ善ト為テ譽ルトコロノ説マ
タ人ノ否ト為テ毀ルトコロノ説種々ノ縁故ヨリシテ出
ルナリ人ノ他人ニ望ムトコロノ行狀マタ百般ノ情由ニ
感染シテ生ズルナリ時トシテハ道理ノ正ニ合ヒ時トシ
テハ偏私執一ノ見ニ陥リ時トシテハ虚誕荒唐ノ説ニ迷
ヒ時トシテハ人倫親愛ノ正ヨリ發シ時トシテハ仇恨嫉

世上所設
教訓多重
強族一遺

妒ノ邪ヨリ發シ時トシテハ驕傲自滿ノ心ヨリ出時トシ
テハ侮慢輕忽ノ念ヨリ出時トシテハ自己ノ願欲自己ノ
恐懼ヨリ生ジ時トシテハ自己ノ利ヲ圖ル心ヨリ生ズル
コトナリ就中コノ願欲恐懼及ビ己ヲ利スル心ヨリシテ出
ルトコロノ意見議論尤モ多シトスサレバ何ノ國ニテモ
權勢強キ種族アレバソノ國ニテ立ルトコロノ教ハ大抵
ソノ強キ種族ノ利益ヲ本トシテ造リ出サレタリサレバ
コソスバルタニストヘロソソスバルタニノ
奴僕ノ稱トノ間ニ設クルトコロ
ノ教訓歐羅巴白人ト亞弗利加黑人トノ間ニ立ルトコロ
ノ教訓イヅレモ強キ一方ノ利益ヲ目的トセシモノナリ
教訓ヲ立ル人ハ自ラ道理ニ原キ議論ヲ立ル積ナルベケ

レ也。自ラ強キ種類ノ方ニ、ヒキ負スルナリ。サレバ、又君主ト
 百姓トノ間ニ立ルトコロノ教訓。貴爵ノ人ト、平民トノ間
 ニ立ルトコロノ教訓。男子ト婦人トノ間ニ立ルトコロノ
 教訓。大抵ミナツノ上ニ立ツ種族ノ方ニ、利益アルヤウニ
 トヒキ負スルモノナリ。シカシテ又ツノ強キ種族同志ニテ、
 コノ説ヲ以テ善行ト思ヒ、相互ニ施シ行ヘリ。何ノ國ニテ
 モ、昔ハカクノ如クナリシナリ。○ツノ他、法度及ビ議論ヲ
 以テ、人民ノ行儀ノ規則トスルモノハ、此世ノ君主ツノ好
 ミ善トスルトコロヲ以テ、人民ヲ強ヒ、コレニ從ハシメ、ツ
 ノ嫌ヒ惡ト思フモノヲ以テ、人民ヲ強ヒ、コレヲ禁ゼシム
 ルトナリ。カク人民ヲ奴役ノ如クニ卑屈セシメ、コレヲ以

強迫、与有
由正相反

テ政ヲ為ハ、固ヨリ自ラ私スルノ心ヨリ出テ、賤シムベキ
 ノ事ナリ。然レモ、ツノ好惡ハ、タトヒ道理ニアタラズト雖
 也。人君ノ實心ヨリ出ルコトニテ、ツノ人民ノコレニ化シテ
 ツノ好惡ヲ同スルコト、マタ實心ニ出タリ。サレバ異説ヲ惡
 ミ嫌フコト、仇敵ノ如シ。タトヒツノ異説、道理ニ合フモノト
 雖也。一概ニコレヲ排斥シ、異説ノ人ヲ慘刑ニ行フニ至ル。
 故ニ昔シカ、ル時代ニテハ、人君ウツ妄ニツノ好惡ヲ以テ政
 ヲ為セリ。人民マタ愚ナリシカバ、人君ノ命令ナラバ、善モ
 ノト思ヒ、禁制ナラバ、惡モノト思ヒ、更ニ自分ハ了簡ハ、ア
 ラザリシナリ。

古時君主、
以好惡為
政

近世諸國ノ政事、次第ニ公平ニ赴ムキ、或ハ君民同權トナ

リ。或ハ民治トナリテ。君主好惡ニ任セ政ヲ為スノ風ハ息
タレド。ナホ議スベキモノアリ。何ニトナレバ。律法或ハ意
見議論ヲ以テ。人民總體ノ行儀ノ規則ト為シ。一般ニコレ
ヲ守ラシムル情狀ハ。矢張國中ノ強キ仲間連中ノ好惡ヨ
リ生ズル律法意見議論ナリ。ソノ好ムトコロ。惡ムトコロ。
必シモ道理ノ正ニ出ズシテ。動モスレバ。異説ヲ抑ヘ。新見
ヲ拒ムノ弊アリ。且ツソノ政府。即チ強キ仲間連中ノ會所
ニテ吟味スルトコロハ。我輩何ナルモノヲ善シトシ好ム
ベク。何ナルモノヲ惡トシ惡ムベキヤト。ソノ好惡ノ理ニ
當ランコトヲ重ニ穿鑿スルナリ。元來。政府即チ會所ニテ。夕
トヒソノ好惡理ニ當ルトモ。コレヲ以テ人民ノ掟トナシ。

政府欲以
一己之議
論強同天
下之意見
大悖于道
理

政府ノ意見議論ヲ以テ。人民行儀ノ規則トスルコトガ。道理
ニ合フカ。合ハザルカト。吟味スベキ筈ナレドモ。兎角ニコ
レヲ忽ニシテ察セザルナリ。夫政府ハ。人民ノ強ク且多キ
仲間ヨリ成リ立ツモノナレバ。銘々別々ニナレハ各一箇
ノ人民ナリ。各一箇ノ人民ヲ保護シ。ソノ自由ノ權ヲ得セ
シメント欲スルニ由テ。仲間打寄り相談スル會所ヲ設ケ。
申合ノ掟ヲ立ルコトハナリシユエ。多數ノ仲間ノ好トコ
ロ惡ムトコロヲ以テ。少數ノ人民ヲ強テ。コレト同セント
思ヒ。強キ一黨ノ意見議論ヲ以テ。弱キ一人ノ異論ヲ抑テ。
發言スルコトヲ得サセヌハ。道理ニ中ラヌコトナリ。蓋シ人々
吾心ニ是トシ尤ナリト思ヘル説アリトモ。或ハ世間流行

ノ説ニ壓セラレ。或ハ多數ノ黨ニ禁制セラレ。コレヲ口ニ
 言ヒ。筆ニ述ル^ス。能ハザレバ。ソノ自由ノ權ナキ。コレヨ
 小甚シキハナシ。然^ルニ政府トダニ言ヘバ。兎角^ト自分ノ説ヲ
 ノミ善ト思ヒ。一般ニ已^レヨリ異ナレバ。惡シキ説ト思フ。大
 ナル惑ナリ。抑モ。凡ソ人ニハ。道義ノ心アルコトニテ。コレ
 ヨリ發シテ意見議論トナリ。ソノ意見議論。區々ナレド。何
 レモ道義ノ心ヨリ出ルコトナリ。然^レバ政府。即チ多數ノ仲間
 ニテ。自ラ執^トコロノ説ヲノミ。道理ノ正ト思ヒ。已^レニ異ナ
 ルモノヲ邪説トイヒ。コレヲ強^テ已^レニ同シカラシメント
 欲スルハ。人ノ道義ノ心ヲ塞ギ。天良是非ノ心ヲ奪フコトニ
 テ。スナハチ政府自ラ邪見ニ陥^リタルナリ。コレニ反シテ。

一箇ノ人民。或ハ少數ノ人民ニテモ。堅ク信ジ。固ク守リテ
 變ゼザル教派アルモノハ。タトヒ固執ニモセヨ。偏滯ニモ
 セヨ。ソノ人胸中ニ自ラ道理ナリト思ヘル真心アルコトナ
 レバ。上ニイヘル邪見ニ陥^リタル政府。即チ多數ノ仲間ヨ
 リハ。高ク地歩ヲ占^ムタルモハナリ。

昔シ英國ニテ。ユニブルサル^{一統ノ}チヨアチ^{教會}トイヘル教派盛ナ

リシカバ。コノ教派ノ意見議論ニ從ハザル人アレバ。邪説
 ト唱ヘテ。コレヲ禁スルヲ務メタリ。然^レドモ。コノ教派ニ異
 ナルモノト雖^モ。ソノ實ハ。邪説ニ非ズ。タツソノ意見ノ合^ハ
 ザルノミ。畢竟多數ノ強キ一派ニテ。少數ノ弱キ一派ヲ誹^ハ
 リテ邪説トスルナリ。苟モ本心ヨリ出タル理論ナラバ。タ

トヒ今マデ世間ニアラザル説ヲ一人ニテ立タリトモコ
 レヲ稱シテ異端邪説トハイフベカラザル筈ナリ然レ寡
 ハ衆ニ敵シガタク弱ハ強ニ勝タズコノ少數ノ一派鬼テ
 モ我ガ説多數ノ一派ヲ化スルヲ叶フベカラスサリトテ
 我自ラ吾心ヲ欺ムキテ一統ノ教派ニ從フハナホサラ
 為難シト思ヒシカバコノ少數ノ教派ニテ餘儀ナク多數
 ノ教派ノ人ニ懇請祈求シテ吾輩流行ノ説ニ曲從スル
 能ハズ願クハ異説ヲ立ルヲ許容シ玉ヘト云ヒシカバ
 コノニ於テ多數ノ教派即チ一般ノ意見議論ヲ固執スル
 黨ニテ少數或ハ一箇ノ人民ノ異説ニ從フニ任スルト
 ハナリタルナリコレニ由テ觀ルトキハ道理ヲ論ズル戰

人民任意
 擇教

場ニテハ新舊ヲ論シ多少ヲ較スベカラザルヲ明白ナリ
 一箇ハ人モシ舉世ノ論ニ服セザレバ別ニ己ガ説ヲ立ル
 自由ハ權アルヲ明白ナリ仲間會所即チ政府ニテ權勢ヲ
 以テ新見異説ノ人ヲ強テ己ノ宗派ニ從ハシムルハ天理
 ノ公ニ非ルヲ明白ナリ抑モ今世ノ人民ハレリヂアスリベル
 テイト云テ宗門ニ從フ自由ノ免許ヲ有^タナルガカクナリ
 シハ理學ノ諸大家書ヲ著シ人各良心ニ是ト許セル宗派
 ニ從フハ自由ヲ得ベキ道理ナリ何ナリトモソノ本心
 ニ信スルトコロノモノヲ他人ヨリ咎メラルベキ理ナク
 政府ヨリ禁ゼラルベキ理ナシト確實ニ言タリシニ由リ
 然ニ通俗オシナベテ異説ヲ容忍セザルモノニテ口ニハ

宗門自由ノ免許トイヒナガラソノ事ノ實ニ行ハル、國ハ
 少ナシタゞ國ニヨリテ宗門ノ争ヨリ禍亂ヲ起ス、トテ惡
 ミ嫌フノ念深キガユエニ宗門ノ事ニ關係セザルコトナリ。
 宗門自由ノ免許アル國ト雖モソノ人民ノ異說ヲ容忍ス
 ルソノ廣狹ノ量一様ナラス。甲ノ人ハ教會管轄ノ事ニ於
 テ他人ノ從ハザルヲ許セドモ教法條規ノ事ニ於テ異見
 アルコトヲ許サズ。乙ノ人ハ一切他人ヲ寛容スレモ。ペーピスト
 羅馬教獨一上帝ヲ信ジテ三位一體ノ說ヲ信ゼザル人ヲ容ルコト能ハス。
 丙ノ人ハ更ニ廣ク異教ヲ寬免ス。然モ上帝ヲ信ゼス來世
 ヲ疑フモノヲ容忍セズ。サレバ何ノ國ヲ見テモ多キ仲間
 アル教派ノ說真心ヨリ出テカヲ盡スモノハ他人ヲ化セ

ント欲スル願望強クアルコトナリ。

英國ニ於テハ歐羅巴他邦ニ比スレバ意見ノ輕重ク、律法
 ノ輕重キ。昔ヨリノ習ヒナレバ人民多クオモヘラク。自
 己ノ行狀ハ自己ニテ主張スベシ。政府ノ律法ノ關カルト
 コロニアラスト。ユエニ人民甚ダ政府ニテ銘々家中行狀
 ノ事ニ立交ハルコトヲ嫌ヒ惡メリ。コレ第一ニハ政府ノ利
 ハ人民公同ノ利ト反對ナルモノト思フ習慣未ダ失去ス。
 ニヨレリ。次ニハ人民自由ノ權ヲ保存セント欲スルニ由
 コナリ。蓋シ人民多クハ未ダ政府ノ權力ハ即チ人民ノ權力。
 政府ノ意見ハ即チ人民ノ意見ト云フコトニ着眼セズ。然ト
 雖モシ然ナリタラシニハ人民自由ノ權ハ政府ノ權ノ

為^スニ壓セラルベキナリ。通常^ス政府ニテ今^{マデ}迄管轄セズ關係セザルモノヲ新^クニ管轄關係セント欲スルトキハ人民ニテ必ズコレヲ防ガントテ抵抗スル心出來ルコナリ。コレ總體ノ為^スニハ甚^クダ補益アル精神トハイヒナガラ往々用カタニオイテ誤ルコアルヲ免カレズ。何^カニトナレバ政府ニテ新^クニ從前關係セザルモノニ立入りコレヲ管治セント思フトキハ人民ノ方ニテコノ事政府律法ノ中ニ屬シテ當然ナリヤ否ヤトイフコヲ考思セズシテ一概ニ政府ニ抗敵スル情勢ナリ。蓋シ政府ノ關係スベキ事ト關係スベカラザル事トヲ斷^ツムル一定ノ規矩アラヌモノ故ニ人民各々ソノ意ノ好ムトコロニ從^テ斷^ツムルコナリ。サレバ

一種ノ人アリ。善利ノ爲スベキモノ。弊害ノ除クベキモノヲ見レバ官府ヲ懲^ス息^スシソノ事ヲ擔當センコヲ企望セリ。又一種ノ人アリ。政府ノ管轄ニ歸シテ利益アルベキコト雖^モ庇^シ寧^シソノ弊害ヲ忍ビテ政府ノ中入ヲ嫌ヘリ。カクノ如ク。說ノ二端ニ分ルハ或ハソノ事ニツイテ意見ノ各異ナルヨリシテ分レ。或ハコノ事ハ政府ノ立入ル方ガ已^ニニ利益ナリト思フ意ヨリシテ出。或ハ政府ヲバ人民ノ欲ニ從テ事ヲ為^スト思ヒ。或ハ政府ヲバ人民ノ欲ニ從テ事ヲ為^スト思フヨリシテ出ルコナリ。或ハコノ事ハ政府ノ關係シテ相當ナリト。コノ事ハ相當ナラズト。一己ノ私見ニモセヨ。カクノ如キ主意ヨリシテ分ルモアレドソレ

ハ甚ダ稀ナリ。サルカラニ予ヨリコレヲ觀レバ。畢竟政府ニテ關係スベキ事ト。關係スマジキ事トヲ裁判スル一定ノ規矩即チ道理アラヌモノユヘニ。甲ノ人ノ是トスルトコロハ。乙ノ人ノ非トスルトコロナリ。故ニ政府ニ籲告シ。ソノ管理ヲ仰グモノモ。政府ノ不是ヲ言ヒ。ソノ關係スルヲ防グモノモ。齊トシク皆事理ニ適當セヌ。往々ニコレアルナリ。

予ガコノ論文ヲ作ル目的ハ。人民ノ會社即チ政府ニテ。一箇ノ人民ヲ取り扱ヒ。コレヲ支配スル道理ヲ説明ス。コナリ。即チ或ハ律法刑罰ヲ以テ。或ハ教化禮儀ヲ以テ。總體仲間ヨリ。銘々一人エ施行コトフベキソノ限界ヲ講スルコナリ。抑

モ人ハ各自自由ノ權アリテ。固ヨリ吾ガ欲スルトコロニ從テ為スベキ譯ニテ。他人ニ抑制セラルベキヤウナシ。シカラバ。何故ニ仲間會社ニ支配セララル。ヤ。答テ曰ク。人民自由ニ事ヲ行ツテ。相互ニ損害ナキコナレバ。仲間申合セノ會社ハ。イラヌモノナレド。中ニハ一方ノ自由ハ。一方ノ不自由トナリ。一方ノ利ハ。一方ノ害トナルコトアルモノユエニ。政府アリテ。人民自由ノ權ノ中ニ立チ入り。コレト相關係シ。世話ヲスルコトハ。ナクテ叶ハヌコナリ。サレバ。人民銘々自ラ守護スルタメニ。仲間會社即チ政府ニ支配セララル。モノユエニ。政府トイフモノハ。人民ヲ保護スルノ用ハ。ミ。サルカラニ。政府ニテ人民ヲ治ムル當然ノ權ハ。他人ノ為スニ損害

フ。為^ナモノヲ防グニ止マリツハ他ニ及ブベカラズ。譬ヘバ
 今一箇ノ人アリ。自ラソノ為^ストコロヲ以テ身體ノ便利ト
 思ヒ。禮儀ノ善^キモノト思ヘドモ。他人ヨリコレヲ見レバ。頑
 愚ナルニテ。外ニコレヨリ便利美善ナルモノアレドモ。コ
 レヲ知^ラザルナリ。然^レモツノ人ノ為^ルトコロ。一己ノ迷謬ニシ
 テ。他人ニ損害ナキナレバ。モシ政府ニテ。ツノ人ヲ強^ヒテ
 ツノ自^ミラ善^シトスルモノヲ變ゼシムレバ。政府ガ。無理トナ
 ルコナリ。蓋シカクノ如キ人ヲ。政府ニテ説諭スルハ可ナ
 リ。異見ヲ言ハ可ナリ。説諭ヲ加ヘ異見ヲ為^シテモ從ハザレ
 バ。ツノ儘ニ棄置^ツベシ。權勢ヲ以テコレヲ強^ヒツノ人ヲ難
 儀セシムルハ。大ナル不可ナリ。要シテコレヲ言バ。人一己

五
 九
 自由

ノ行狀ニツイテ。他人ニ關係シ。クハ損害トナルコトハ。政府
 ニテ。コレヲ可否スルコト。理ノ當然ナリ。モシタ^ラ一己ニ關
 係シ。他人ニ及バザルモノハ。固ヨリ我心ノ自由ニ任スベ
 シ。蓋シ人己ガ。一身一心ヲ治ムルコトニ於テハ。不羈獨立ノ
 君主ナリ。
 然^リト雖^モ。凡^ソコトニ言ベキコトアリ。自由ノ權ハ。男女トモニ成
 人シタルモノニ非レバ。受ラルベカラズ。タトヒ成人シタ
 リトモ。了簡未ダ立ズ。思慮未ダ熟セザルモノニハ。矢^ヤ張^リ自
 由ノ權ナシ。ユエニ年少ノ人ノ他人ニ看護セラル。モノ
 ハ。自由ノ權アルベカラズ。自己ノ行狀モ。ツノ看護人ノ禁
 戒ヲ守ルベク。外面ノ損害モ。ツノ看護人ノ抵防ヲ仰グベ

野蠻之國
民無自由
之權

キナリコレト同ジ道理ニテ愚蠢ナル人種ノ國ハソノ人
 民殘ラズ未ダ成人セズ無分別ノモノト見ル故ニ自由ノ
 權ナドトイヘルヲアルベキヤウナシ蓋シ生人自然ニ開
 化スルト甚ダ難キモノユエ何ナル方法ニテモ早クコレ
 ヲ治ベシトテソノ君主遂ニ獨裁ノ權ヲ以テ一己ニ歸シ
 律法ヲ設ケ人民ヲ治メ善スルヲ為セルナリ然セザレ
 バソヒニ開化ニ進ミガタカルベシサレバデスポチス覇政
 即チ君主己ガ意ヲ以テ為ス凡ソ夷狄ノ國暗愚ノ民ヲ治
 ムル正法ナリリベルテイ自由ノ理トイヘルヨハ人民自由
 ニ相互ニ議論シテ教化禮俗日ニ進ミ邦國ノ景象日ニ新
 ニナルホドニ人民ノ位ガ善ナラヌ以前ニハ一箇ノ道理

トシテハ用ヒラルベカラズ人民ノ未ダ開化セザル間ハ
 アクバル及ビシャレメーンノ如キ明君ヲ得テコレニ統御セラ
 ルトヲ以テ幸福ト思ヒソガ命令ニ恪遵スルヨリハ他
 事ナカルベシ然ドモ人民ノ智思日ニ進ミ自己ニテ身ヲ
 修善スルヲ得ル時代ニ至リテハ人民ノ中ニ政府ノ議
 論ニ一致セヌモノアリトモ刑法ヲ以テコレヲ強迫スル
 トハ政府ノ為スベキ當然ノ道ニアラズタゞ他人ヲ妨害
 スルトアレバコレヲ保存センガ為ニソガ是非ヲ結ス
 理ノ當然ナリトス
 人生無疆ノ利益トナルトハ政府ニテコレヲ統轄スベク
 人民各他人ノ利益ニ關係スルトハ政府ノ裁判ヲ仰グベ

シ。モシ一人アリテ他人ヲ損害スル事ヲ行フトキハコレ
 初^メテ見^ルハル、案件トイヘルモノニテ。律法ヲ以テツノ人
 ヲ罰スベシ。モシ律法未ダ定マラザル部落ナラバ。總體ニ
 テツノ人ヲ許容シ置^カズ。申シ合セテ刑罪ニ行フベシ。カク
 人民ノ為^ルトコロニテ。他人ノ害トナルコトハ。政府ニテツノ
 事ヲ取扱フナリ。ソレト同ジコトニテ。他人ノ利ト為^ル事ハ。
 政府ヨリ人民ニ命ジテ為^サシムルコトヲ。當然ナリトス。例ヲ
 舉^ゲバ。或ハ裁判所へ呼^ビ出^シテ證人トナラシムルコト。或ハ邦國
 ヲ守護スル費用ニ充^ルル金錢ヲ出サシムルコト。或ハ總體ノ
 利益トナル箇條ヲ。諸共^{モト}ニ行ヒ成就セシムルコト。即チ人ノ
 生命ヲ救ヒ。及ビ人ノ懶惰ニシテ職分ヲ盡ザルヲ防グコト

等ナリ。凡ツ人ツノ行事ニ由^リテ。他人ヲ損害スルコトアルノ
 ミナラス。又一事ヲモ為^サルニ由^リテ。總體ノ損害トナルコト
 アリ。故ニ政府即チ仲間會社ニテ。ツノ事ヲ為^サルモノヲ
 詰問シ處分スベキ譯^{ナリ}。然^レモコレヲ行フニハ。尤モ慎マ
 ザルベカラズ。安^リニ強迫スルハ不可ナリ。蓋シ人ノ他人
 ニ損害ヲ加フルモノハ。コレヲシテ。ツノ咎ニ任ゼシムル
 ハ。規法ナリ。人ノ患害ヲ防ガザルタメニ。コレヲシテ。ツノ
 咎ニ任ゼシムルコトハ。極メテコレヲ言ヘバ。條例トシテ立
 テアラヌナリ。然^リト雖^モ。事ノ情由^ニヨリテハ。總體ト諸共^{モト}
 ニ患害ヲ防ガザル人ヲ咎メザルベキモノ。數多^クアリ。蓋シ
 凡ツ身外百物ニツイテ。他人ト利害相關係スルモノハ。ツ

ノ責任ヲ逃ルベカラズ。然レ別ニ一種ノ案件アリテ。人ヲ
 世間一統ニ職分ヲ負シメズ。ソノ咎ニ任ゼシメザル。ア
 リ。コレソノ道理。何ニトナレバ。ソノ人ノ自己ノ智見ニ任
 セタル方ガ。政府ニテ管轄スルヨリハ善。ソノ事ヲ成就スベ
 キヤウナル場合アレバナリ。又事ニ由テ。政府ニテ強テ管
 轄スル時ハ。弊害ヲ防ント欲シテ。反テ弊害ヲ長スル場合
 アレバナリ。カクノ如ク責任ヲ強テ人ニ負シメザル時ハ。
 ソノ責任ヲ負ザル人。ヨロシク自ラソノ良心ヲ以テ己ノ
 為トコロノ事ヲ裁判シ。他人ノ利益ヲ保護スルコトヲ務ム
 ベシ。何ニトナレバ。カクイフ場合ニテハ。總體ノ仲間即チ
 政府ヨリノ裁判ヲ受ザルガ故ニ。自ラ嚴シク審思判断セ

自由之權
 大綱有三

ザルベカラズ。

自由ノ權。ソノ大綱三アリ。第一ハ。是非ノ心ノ自由。第二ハ。
 好尚及ビ職業ノ自由。第三ハ。聯合交結ノ自由。第一ニ。凡
 ソ何事ニ限ラス。人自ラ是ナリト思ヒ。或ハ言ヒ。或ハ行フ
 コトハ。必ズ他人ヲ感移スベシ。然レ。マタコレヲ非ナリトス
 ル反對ノ駁議モ起ルベシ。コレニ續テ。他人マタ斟酌商量
 シ。互ニ異説ヲ立ツベシ。カク人ノ本心ヨリ出テ。區々ニ是
 非スルコトハ。コレ正ニ人生自由ノ理ノアルトコロハ。適當
 セル境地ナリ。蓋シ自ラ知ル是非ノ本心ニ從フベキ方寸
 ノ領地アルコトナレバ。コノ領地ヲ自由ニ保チ。他人ニ強ラ
 レ。又奪ハル。ナキヲ。名ヅケテ是非ノ心ノ自由。天良ノ

心ノ自由トイフ。抑モコノ良心ノ自由トイフ。ハ。心情ノ自由。思想ノ自由ナル。トニテ。凡ク一切世間ノ事ニ於テ。意見議論。吾心全ク自己ニ主トナリテ。十分ノ自由ヲ得ル。トナリ。即チ做シ得ベク。習ヒ得ベキノ事。思想究察ノ事。學術ノ事。德行禮儀ノ事。上帝道教派ノ事。何レモ。己ハ是トスル意見議論ニ從フ。十分ノ自由ヲ得。決シテ他人及ビ政府ニ強ラルベカ。テザルナリ。又人己ガ意見ヲ講説シ。或ハコレヲ印行スル。トハ。タトヒ他人ニ關係スト。雖モ。コノ自由ナケレバ。思想ノ自由ガ十分ナラヌ。エ。講説印行ハ自由ハ。是非ノ心ハ自由ノ分内ニ屬セリ。

第二ニ。好尚及ビ職業ノ自由トイヘルハ。人各々ノ己ノ

大體
自由

性情ニ適スル職業ヲ擇ビ。終身ヲ營ミ。及ビ己ノ好ムトコロニ從テ。吾身ヲ行フ。ノ自由ナリ。縦ヒ他人ヨリ觀レバ。ソノ行フトコロ愚呆ニモセヨ。執拗ニモセヨ。不是ニモセヨ。他人ニ損害ノ及バヌ。ダケハ。己ガ意ノマナルベク。人ニ障礙セラるベカラザル。トナリ。

第三ニ。人々互ニ相聯合シ。盟社ヲ結ブ。トハ。自由トイフハ。己ガ意ノ好ムトコロニ從ヒ。同志相助クル。トナリ。然レ人ヲ強ヒ。人ヲ欺ムキ。ソノ盟社ニ入ラシメ。或ハ他人ヲ階害セン。為ニ徒黨ヲ結ブ。トハ。禁制タルベシ。其他一切交際自由ヲ得ルナリ。但シ年未ダ長大ナラズ。一人前ニナラヌ。モノハ。コノ自由ヲ受ル能ハズ。

凡ソ人民ニコノ自由ノ權即チ是非ノ心ノ自由好尚職業
 ノ自由朋友交結ノ自由アル國ヲバ自由ノ國トイフ縦ヒ
 ツノ國法政體イカヤウニ差別アリトモ自由ノ國トイフ
 ナリ凡ソ人民自己ノ意ヲ行フ能ハズ仲間ナカマ或ハ政府ノ為
 ニ挾制繩束セララルモノハ自由ノ國ニ非ズ真正ノ自由
 ノ國トイフモノハツノ人民各々他人ノ害ニナラヌ丈ハ
 己ノ意ニ任セ己ガ善ト思フトコロノ事ヲ行フナリ蓋シ
 人タルモノハ各々自ラ善ト思フト今日歐羅巴近之ヲ相ヒカヒカ互ニ得ルハ大
 利益ナルヲナルベシ各々自ラ善ト思フト要細要如此ヲ行ヒ得ズ相
 互ニ他人ノ為ニ強ラレ迫ラレテ他人ノ善ト思フトニ餘
 儀ナク從フハ不都合ナルヲナルベシ

至理名言

以上説トコロノ道理固ヨリ新異ナラスコレヲ聞ク人真
 確ナリト許ス人アルベケレ然ルニ亦亦世上一般ニ行ハル
 説ト異ナリトシテ駁スルモノモアルベシ何何ニトナレ
 バ仲間ナカマ會社即チ政府ニテ人民一身ノ行狀ノ事ニ立チ入
 リコレヲ強テ己ノ説ニ一致セシメントヲ務ムルトハ昔
 ヨリノ習ニテツノ時ノ理學家オモヘラク人民居家日用
 ノ行儀ニ至マデ一々ニ規則ヲ立テ官府ノ權勢ヲ以テコ
 レニ臨ミ國中ノ民ヲシテ盡クコレニ從ハシムベシト昔
 シカク思ヒシトサモアルベキ譯ナリ蓋シ眇小ナル一國
 外ハ強敵ノ侵伐ヲ受ケ内ハ騷亂常ニ起リシユ正暫時ノ
 間ニテモモシ人民ヲ治ムルトヲ怠リナバ邦國危カルベ

ク見ユサレバ人民ヲシテ自由ヨリシテ生ズル真正ノ利益ヲ受シムル暇ナカリシナリ。近世ニ至リテハ此世ノ事ヲ主^{ツカ}ドル人ト神靈ノ事ヲ主^{ツカ}サドル人ト權勢分レ。國主或ハ政府ハ塵世ノ務ニ任ジ。法官ハ真神ノ教ヲ主^{ツカ}ドリ。權勢互ニ分レ。相關係セザルフトナリテヨリ。政府ニテ律法ヲ以テ。人民家私ノ行儀ヲ一様ニセントスル風ハ減ジタリ。然レ主教ノ官ハソノ意見ヲ以テ人民ヲ管治シ。異說ヲ抵防セント欲シ。彪力單^{ピウリツタン}清潔ノ教ノ宗徒ハソノ議論ヲ以テ。人民ヲ已^{オシ}ガ説ニ歸セシメント欲スル弊アリ。シカノミナラス。宗門改正ノ事ヲ論ズル人ト雖レ。法官ノ權勢ヲ執ルコトヲ以テ直トセリ。紺^{コム}的ノ説ノ如キハ。教法禮儀ヲ以テ人

民ヲ約制スベシト云フ。往古ノ理學家人民ヲ壓抑スル説ニ似テ更ニ甚シトス。蓋シ人或ハ君主ニモセヨ。或ハ平民ニモセヨ。苟モ勢力アレバ。吾ガ意見好尚ヲ以テ他人意見好尚ノ規則トセント欲スルトナレバ。コノ弊害ヲ隄防セシ。ンガ為ニ。人民自由ノ道理ヲ講明セザルベカラズ。コレニ次テ。自由ノ理ヲ總體ニ説^カンヨリ。ソノ中ノ一項ニツイテ論ズベシ。即チゼリベルテイ。ヲフ。ソイト思想ノ自由トイヘル一項ナリ。談話ノ自由。著述ノ自由。ハソレト共ニ行ハレテ。相離レザルモノナリ。凡ソ諸國ニテ。レリダラス。トレレーシヨシ。宗門自由ノ免許アリ。フリー。インスチテチユーシヨン。自由ノ政法アリト。自ラ稱スト雖レ。コノ道理ノ原由ヲ分曉セザル

モノナホ數多アルベシ。コノ心思ノ自由ノ根源ヲ理會シ
タランニハ、ソノ他ノ自由ノ理ハ、了解シ易カルベシ。然レ
モ世ノ人モシ我ガ言フコロノ事、一モ陳腐ニシテ發明ス
ルモノナシト思ヒ玉ハ、余コタヘテ、コノ事ハ三百年以
來、人ノ議論スルトコロナリ。願クハ、我ガ今一回敢テ蛇足
ヲ添フルヲ許シ玉ヘトシカイク。

譯者曰ク余近ゴロエンサイコロペチア。ブリタンニカ英國博
物字書ノ

卷首ニ載タルヂュガルドス左アルト名ノ論文ヲ讀シガ、ソノ

中ニ費内倫ノ事ヲ論ズルモノアリ。自由ノ理ニ關係ス

ルコナレバ、抄譯シテコノ卷末ニ附シタリ。看官コノ突

然ノ舉ヲ咎ムルコナカレ。

費内倫ハ、法國ノ卓越ノ理學家ナリ。ソノ著ハセル書中
ニ、稼穡ノ事、法教ノ事、及ビ交易賣買ノ事ハ、皆人民ノ自
由ニ任セテ、拘束スベカラザルコトヲ云ガ如キ。民生ヲ幸
福ニ導ク根元基礎トイフベシ。

費氏フエーイ古人ノ事ニ托シ、交易賣買ノ自由ヲ論ズル文

的列馬テレマ去斯キス那爾ナル拔爾バルニ問テ曰ク、泰爾タイ爾ル

如キ繁盛ナル西利亞ノ往古互市ノ三古繁昌ナ場ハイカニシテ以以答カ加カ一一鴛ニ名ニ於

テ建テタルベキヤ、那爾ナル拔爾バル答ヘテ曰ク、泰爾タイ爾ルニテナセル法

ノ如クナレバ、繁盛ニ至ルベシ。外國人ノ來ルモノハ、コレ

ヲ好ク接遇シ、汝ノ海港ニ於テ、自由ノ權ヲ昇アへ、便利ノ事ヲ

許スベシ。又汝貪吝ト驕傲トノ二者ヲ行フテ、外國人ヲシ

テ嫌惡ノ意ヲ生ゼシムルコトナカレ第一ニ汝ノ目前ノ利
 ヲ謀ルガ為ニ貿易自由ノ事ヲ約制スルコト勿レ交易ノ利
 銀ハ悉ク交易ノ事ニ勤勞スルモノ、所得ニ歸セシムベ
 シ然ラザレバ恐ラクハ十分ニカヲ盡スモノナクシテソ
 ノ事怠廢スルニ至ラン。○民人交易ヲ自由ニ行ヒテ邦國
 ニ財貨ヲ齎^{モク}ラシ入りコレニ由テ君主ノ獲ルトコロノ利
 ハ大ナルベシ蓋シ交易ノ事ハ川流ノ如シソノ自然ハ瀬
 ニ任セズシテ故サヲニコレテ變ズレバ必ズソノ利ヲ失
 ナフコトナリ。

コノ同ジキ問題ヲ以テ斯^{スミス}密士弗蘭克林ニ對^カテ置^カシム
 ルトモ恐クハ此上ニ出ル高見卓識アルベカラズ。

譯者曰交易ノ事固ヨリ自由ニ任^カスベシ然レモ、ニ著
 眼スベキコトアリ外國ト交易ヲ為シ本國ヲ富^マス通常ノ
 律法ハ守ラザルベカラズソノ律法ハ *To sell more to*

strangers yearly than we consume of theirs in value.

毎年外國人ニ貨物ヲ賣リ獲ルトコロノ價銀ノ總數ヲ
 シテ本國ニテ貨物ヲ消^{モク}ヒ費ヤス價銀ノ總數ヨリ多カ
 ラシムベキナリ。今時西洋ノ品物ニ價銀外ノ利益モア
 ルコトナレバ概論シガタキ訳モアルベシ。

詳^カニコレテ知^ラント欲セバ *Mun's Treasure by Foreign*

Trade. 書ニ就テ考ガフベシ。

費氏法教ノ自由ヲ論ズル文

人君ノ最要トシテ理會スベキ所ノモノハ決シテ人民ヲ

強テソノ信ズル教法ヲ變ゼシムルコト勿レ國王ノ權ハ人
心天良ノ權ニ及バズ國王ノ力ハ人心信仰ノ力ニ敵シガ
タシ人民ノ中ニ於テ何ノ教法ニモセヨ心中ニ信仰スル
モノナクシテ輒ク國王ノ權力ニ移シ奪ハルモノハ皆
偽善者ニシテ惡ムベキノ小人ナリ夫レ國王ハ人民ヲ保
護シ各々ソノ信ズル教法ニ從フコトヲ得セシムベキニサ
ハナクシテ却ツテ人民ノ信心ヲ奪ヒ巴ガ意ニ從ハシメ
ントスルハコレ教法ヲ以テ己ノ奴隸トスルナリサレバ
教法ノ事モ其他人民免許ヲ得ルモノ、如ク一切ソノ自
由ニ任セソノ良心ニ從ハシムベシ且教法ヲ人民ニ勸ム
ルニモ專ハラ柔道ヲ守リ上帝ノ旨ニ合ハンコトヲ求ム

ベキナリ。

大正

11/08

自由之理第一卷

二十七

自由之理第一卷終

